

7月26日開催、第189回船主部会議事概要

当日、神戸市・生田神社会館において、藤井会長 村田担当副会長 寺岡副会長 原田副会長 藏本副会長 臨席の下、標記部会を開催し、岡本部会長が議長に就任し、概要以下の通り審議した。また新任部会員である横手 昭明氏（四海連）より就任挨拶が行われた。次いで立田副部会長より副部会長退任の申し出があり、議長は杉本 敏氏（四海連）を指名し、了承された。

1. 平成28年度、船主部会活動方針について

議長は、本年度部会方針について、全海運の事業計画に沿って活動するとともに、船主連絡協議会の活動を主に、用船料適正化、船主の地位向上に向けた活動をしてゆくことを提案し、了承された。

2. 船主連絡協議会の活動について

議長は、昨年度に引き続き、適正船舶コストの算定、若手船員育成やオペ訪問における用船料適正化要請、地方大会開催等を中心に活動していくと共に当部会として同協議会の活動を全面的に支援していくこととした旨提案し了承された。

3. 暫定措置事業関連諸規則について

事務局より暫定措置事業における建造等納付金の納付額を減額するための事業集約等に関する審査基準と平成28年度の細則改正に関するQ&Aの追加項目の説明を行い、了承された。

4. 内航海運活性化に向けた今後の方向性検討会審議状況について

臨席の藏本副会長(内航海運活性化に向けた今後の方向性検討会委員会委員)より7月1日に開催された第3回同委員会について概要説明を行い、了承された。

5. その他

イ、商法（海商編）改正について

事務局より7月8日に開催された商法（運送・海商関係）改正に係る勉強会の概要について説明を行い、了承された。

ロ、退職自衛官の内航船員への転職について

事務局より資料に基づき、説明するとともに、退職自衛官の採用に向けて協力方を要請し、了承された。

以上で当日の全議題を終了し、議長は閉会を宣した。

以上